



技術評価書

申込者：JFE 条鋼株式会社 代表取締役社長 野村 寛
東京都港区新橋五丁目 11 番 3 号

技術名称：DS ネジプレート定着工法 「柱主筋外定着方式」

技術概要： 本技術は、定着金物「DS ネジプレート」を用いた機械式定着工法であり、主として中間階のト形柱梁接合部について、GBRC 性能証明 第 07-17 号(2007 年 11 月 6 日)を取得し、2009 年 3 月 3 日の改定では、最上階の T 形、L 形柱梁接合部を適用範囲に加えている。2011 年 6 月 1 日の改定 2 では、(財)日本建築総合試験所・機械式鉄筋定着工法研究委員会「機械式鉄筋定着工法設計指針(2010 年改定)」に準拠する設計指針とし、最上階の柱 RC 梁 S 接合部および柱 SRC 梁 S 接合部における柱主筋定着を適用範囲に追加するとともに、フリータイプの DS ネジプレートについても、使用箇所に係わらず、固定ナット付きとしなくてもよいとしている。

2011 年 8 月 30 日の技術評価は、DS ネジプレート定着工法の適用範囲に追加した「柱主筋外定着方式」についてであり、今回の技術評価は、申込者の社名変更に係わるものである。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2012 年 4 月 2 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

- 評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
DS ネジプレート定着工法「柱主筋外定着方式」説明資料
この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した実験資料がまとめられている。この資料のほかに、DS ネジプレート定着工法「柱主筋外定着方式」設計指針、標準施工要領書および専門部会資料が提出されている。
- 評価内容： 申込者提案の DS ネジプレートは、鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計される DS ネジプレートを用いた異形鉄筋の定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。